

## 第 20 回「中国地区 GHP 研究会」開催のお知らせ

謹啓

朝夕がしのぎやすくなり、季節の移り変わりを感じる毎日ではございますが、先生におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 20 回の研究会は、「強迫」をメインテーマとして開催する運びとなりました。

特別講演は、兵庫医科大学精神科教授の松永寿人先生にお願いしております。松永先生は強迫性障害の病態研究や臨床について多くの業績をお持ちであり、まさにこの領域の第一人者であります。強迫性障害の時間経過に沿った脳内メカニズムの変化や、comorbidity による臨床像の多様化や複雑化などについて、治療的観点から実践的な興味深いお話がきけるものと思います。

ご多忙のことと存じますが、何卒ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

日時：平成 29 年 10 月 7 日(土) 16:00~19:00

場所：ホテルチューリッヒ東方 2001

<http://www.b-mozart.co.jp/hotel/>

参加費(予定)：1 名につき 1000 円(当日受付にて徴収させていただきます)

【関連演題】16:00-17:40

### 一般演題

座長 広島市立広島市民病院精神科 和田 健先生

生

1. 「症状が顕在化した未加療の大学生の強迫性障害の特徴について」

山口大学 大学教育機構 保健管理センター 松原敏郎先生

2. 「強迫性障害に対する外来での曝露反応妨害法を行った一例」

広島大学大学院 精神神経医科学 神人 蘭先生

### ケースディスカッション 1

座長 国立病院機構呉医療センター精神科 竹林 実先生

「強迫性障害の外来薬物療法を一緒に考えましょう-海外ガイドラインも参考に-」

県立広島病院 精神神経科 高畑紳一先生

### ケースディスカッション 2

座長 広島市立安佐市民病院精神科 日笠 哲先生

「発達障害・精神遅滞を背景とした強迫症の 1 症例」

島根大学医学部精神医学講座 長濱道治先生

<Coffee brake 17:40-18:00>

【特別講演】18:00-19:00

座長 県立広島病院 精神神経科 高畑紳一先生

『強迫の現在とこれから～治療の最適化を目指して～』

兵庫医科大学 精神科神経科学講座 教授 松永寿人 先生

共催：中国地区 GHP 研究会

顧問 山脇成人(広島大学大学院・医歯薬保健学研究所)

山田了士(岡山大学大学院・精神神経病態学)

代表世話人 和田 健(広島市立広島市民病院・精神科)

当番世話人 高畑紳一(県立広島病院・精神神経科)

Meiji Seika ファルマ株式会社